

WEST UNION

第386号

2022年1月1日

JR西労組よなご

西日本旅客鉄道労働組合

米子地方本部

発行責任者 大川 達也

編集責任者 高真 靖幸

明るい未来を切り拓くため、安全を基礎に総団結でこの難局を乗り切ろう!

～ 苦しい時だからこそ仲間を想い共に未来へ、そして次世代へ繋ごう～

先ず、安全確立に向けた取り組みについて
福知山線脱線事故から16年8ヶ月、伯備線触車事故から今年1月24日で16年が経ちます。この間の取り組みにより、運転事故や危険事象は確実に減少している一方で、未だグループ全体では死亡労災や重大労災が発生しています。常日頃から、気の緩みやルールの逸脱はないか問いかけ、系統を超えた仲間同士で確認し合うことの積み重ねが安全性向上に繋がります。

2022年の年頭にあたり、地方本部執行委員会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。
昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の拡大が波状のように繰り返され、緊急事態宣言解除の兆しが見える一方で、感染者が増加し、感染不安や収束が見通せない不安、そして自粛が続くストレスと向き合う1年でした。私たちの核となる鉄道事業も移動の需要が一向に回復せず、半減となった賞与や一時帰休グループ外出など過去に経験したことのない、対応を続けてまいりました。そして、米子支社管内においては、7月に梅雨前線が停滞したことによる局地的な集中豪雨、8月には台風9号による土砂災害が発生し、山陰本線を中心とした各地で多くの被災を受けました。とりわけ、小田く田機関では山の地滑りにより、鉄道は不通となりましたが、バスによる代行輸送を行い、猛暑の中での復旧作業や代行輸送に関わるお客様案内など多くの組合員の懸命な業務遂行により、無事に運転再開を果たすことができました。

また、昨年10月に施行された第49回衆議院議員選挙では選挙区において3名の候補者を推薦し、選挙戦を闘いました。選挙区では苦戦したものの、湯原俊二候補におかれては比例代表で見事当選を勝ち取ることができました。与党が過半数を超え、極めて厳しい選挙結果となりましたが、私たちの推薦議員を国会へ送りこめた自信と自覚を持ち、政策課題実現に向け、今後JR西労組の政策力を発揮しなければなりません。
そのような中、新年を迎えるにあたり、4点について決意を申し上げます。

1 点目、安全確立に向けた取り組みについて
福知山線脱線事故から16年8ヶ月、伯備線触車事故から今年1月24日で16年が経ちます。この間の取り組みにより、運転事故や危険事象は確実に減少している一方で、未だグループ全体では死亡労災や重大労災が発生しています。常日頃から、気の緩みやルールの逸脱はないか問いかけ、系統を超えた仲間同士で確認し合うことの積み重ねが安全性向上に繋がります。

2 点目、組織の充実・強化について
組合運動の原点は分会(職場)であります。なぜ分会が原点かというと、分会は生産点であるがために様々な課題や問題が発生するからであります。組合員が感じる課題や問題をどう分会役員が把握するかが重要であり、把握するためには定期的な職場集会の開催や、日頃からのコミュニケーションが必要となります。未だ、組合活動をを行うにあたり感染対策を講じる必要があるため様々な制限を伴いますが、悩みを抱え困っている組合員がいなくアンテナを高くし、寄り添いながら対応いただくことを要請します。



3 点目、地域活性化の取り組みについて
米子支社の環境下において、コロナ禍による移動の需要低下も大きな課題ではありますが、将来の人口低減を見据え、ご利用の減少についても私たちがとって避けては通れない課題であります。将来にわたり、働き続けられるJR産業の構築に向けて、引き続き、「地域活性化の取り組み」を運動の重要な柱のひとつとして、政策提言から実現に向け、自治体訪問活動、議会対策を積極的に進めることとします。

4 点目、政治闘争について
今年の6月には米子市議会議員選挙が予定されています。JR西労組の議員団会議の議長であり、米子地方本部の議員団会議の事務局長でもある、中田利幸市議会議員が7期目の当選を目指し、立候補の表明をされました。中田利幸予定候補は、現在も米子駅南北一体化事業においてご尽力を頂いており、JR西労組にとっても既に推薦決定を行なっており、何となくも組織内候補の必勝に向け、全組合員・ご家族の総力を上げて取り組むことをお願い申し上げます。

結びに、JR西労組ならびにJR西日本グループを取り巻く環境は、安全問題をはじめ多くの課題を抱え、非常に厳しい状況ではありますが、「団結と連帯」を基本の一つひとつ課題の解決を図りながら着実に前進して行く先頭に地方本部が立って行くことを誓い申し上げます。地方本部を代表し年頭の挨拶とさせていただきます。
共に頑張りましょう。

個人としても機関としても、職場で疑問に思ったとき、声を出して言うことができているのか、声が出せる職場環境なのかを、今一度振り返る必要があると考えます。そして、それを振り返る一つの手段として、今年度より「安全お守り手帳」を全組合員へ配布させていただきます。私たちが安全への振り返りの結果が会社全体の「安全確立」に繋がります。
二度と悲惨な事故を繰り返さない事を心に刻み、今年も安全の確立を最優先課題と位置付け取り組む決意とします。



JR西労組米子地本 今月の行事について
①「新春セミナー・新成人を祝う集い」
日時：2022年1月10日(月・祝) 13:30~
場所：米子ワシントンホテル2F「らんの間」
②「2022年安全の集い」
日時：2022年1月24日(月) 12:00集合
1部：安全碑献花(根雨駅構内)
2部：安全の集い(米子ワシントンホテル)

2022年 謹賀新年
本年もよろしく お願い申し上げます
Illustration of a tiger.

Table of union members and officials including names like 大川 達也, 高真 靖幸, 佐々木 勇次, etc.